カリフォルニアの風（７・８月号）

夏休みが始まって、およそ４週間が過ぎました。元気に過ごしていることと思います。

宿題を終わらせようと、額に汗しながら頑張っている皆さんの姿も目に浮かびます。

夏休みは、ふだんの学校生活とちがって、時間割がありません。鐘（チャイム）も鳴りません。

ですから、自分で時間を決めて、やることもすべて自分で決めて生活しなければなりません。でも、一人ひとりの過ごし方がちがうというのがいいところで、そのため、どのように過ごすかによって、充実したものとなったり、だらけたものになってしまったりすることにもなります。

さてあなたは、夏休み前半のこの４週間を過ごし、どちらの気持ちを味わっていますか。

「うんうん、充実しているよ」という声が聞こえてくる一方、「なんとなく、だらだらしてしまっているかな」という声も、中にはあるようですね。

そこで皆さんへ

夏休みの後半へと折り返すこの時期に、これまでの４週間を、次の５つの項目で振り返ってみてはどうでしょうか。できていたら、□にレ点を付けるなどして、これからの夏休みを、新たな気持ちで過ごす機会にしてほしいと思います。

□規則正しい生活をしていますか。

起きる、食べる、勉強する、遊ぶ、寝るなど、生活のリズムはきちんとつけていますか。

□事故にあわないよう気を付けていますか。

危ない遊びをしないように、また交通事故にあわないように気をつけていますか。

□あいさつはできていますか。

おはようございます、ありがとう、失礼します、すみません、おやすみなさい、のあいさつはできていますか。

□やろうと決めたことは進んでいますか。

夏休みだからやろうと、「めあて」を決めました。それは少しずつ進んでいますか。

□（最後の項目は、レ点が付くよう、自分で決めてみてください）

たとえば、お会いしていないお友だちや先生、ご家族の誰かにお手紙を書いた人は、「お手紙を書いていますか。」というのはどうでしょうか。

また、夏休みは時間がいっぱいあるから、読書に親しんで読書量を増やしているという人は、「本を読んでいますか。」がいいでしょうね。「いろいろな体験や経験をする夏休みにしていますか。」というのもいいですね。お家の方と相談していろいろと楽しい計画を立てていることと思いますし、つい先日、私宛に高等部のお友達（生徒）から、「僕、明日から日本に行くので、体験レポートを送ります」とお手紙が届いたからです。

では皆さん、夏休みが終わるころには、「こんなことができるようになった」とか、「今年の夏休みはとても充実していた」とか、達成感を味わえる夏休みにしてくださいね。

そして、８月の終わりには、一回りも二回りも大きく成長し、たくましくなった皆さんの元気な顔に会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様へ

夏休みに入る前のことになりますが、「文芸作品コンクール」の作品募集を紹介いたしましたところ、お子さんたち 195 名から、341 点の応募がありました。その内訳は、作文が 22 点、詩が 34 点、短歌 112 点、俳句 173 点です。学校生活や家族、友だちをテーマにした生活感あふれる力作ぞろいで、一生懸命取り組んでいた様子がうかがわれました。ご家庭でご協力いただきましたことに、この場をお借りしましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

夏休みに入り 4 週間が経ちましたが、お子さんの様子はいかがでしょうか。

きっと、「新たな発見のある夏休み」、「発見がある夏休み」になっていると思っています。

その発見は、自分、お家の人、友だち、スポーツ、勉強、自然、本など、どんなものから、どんな内容でも構わないと思います。それが小さな発見で、たとえ一つであったとしても。お子さんから「発見した」という話が出ましたら、耳を傾けていただき、その発見を褒め認め、さらに「ほかにもあるかな」などと励ましていただけましたらと思っています。

さて、その発見について、うちの子は「発見が苦手」と思われているお家の方もみえると思います。そんなお家の方には、お子さんを、いつも見ている自分の見方とは違った見方になるよう、いつもと違う位置に導いてください。たとえば、目の高さを変えるようにしてあげてください。お行儀が悪いと言われるかもしれませんが、お子さんを椅子の上に立たせてみると、ふだんとは違ったふうに見えると思います。高い位置だと眺めがよく、お父さんやお母さんの視線、眼差しからの見え方になります。逆にしゃがんでみると、弟さんや妹さんの高さで見ることもできます。他には、家での晩ごはんのいつもの席を変えてみる方法もあります。きっとこれまで見ていたものと変わることに気づき、新しい発見につながると思います。

このように視点を変えるようにすると、同じものがちがって見えるようになります。たとえば、ノートはふつうに見たら長方形でも、それを丸めると円です。でも、こちらからは円だけど、横から見たら、細長い長方形みたいに見えるというふうに、一つのものでもさまざまな形に変わることを発見するようになります。

日本語補習校に通うお子さんたちは、(先月号にも書きましたが) すべてが将来のグローバル人材で、その子どもたちには、さまざまな物事に好奇心・探求心を持ってほしいと願っています。そこで、お子さんと一緒にいられる時間がいっぱいある夏休みのときに、「新発見ごっこ」などの遊びを通して、お子さんの発見を引き出していただけたらと思います。それは、お子さんには、5 月号に書きましたように、両親から命を授かったときにもらった「科学する本性」が備わっているからです。そのため、ちょっとしたことがきっかけで新たな発見をし、それが認められると、さらに次の発見をするようになります。そのときに、お家の人から、「発見ができて、充実した夏休みになったね」などと声をかけていただくと、夏休み以降もいろいろなことに好奇心を持つようになり、見方考え方を広げ深めていくようになると考えています。あと 4 週間、お子さんを褒め認め励ましていただき、楽しい夏休みをお子さんと過ごしていただけましたらと願っています。